

## 平成 29 年度第 1 回下野市生涯学習推進協議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 平成 29 年 7 月 18 日（火） 9 時 30 分～11 時 30 分
- 2 場 所 庁舎 3 階教育委員会室
- 3 出席委員  
 会長 島田 実  
 副会長 小島 和吉  
 委 員 白石 恵子  
           武子 保  
           井上 永子  
           梁島 耕治  
           大関 啓子  
           鈴井 祐孝
- 4 出席職員 教育長 池澤 勤  
 生涯学習文化課長 近藤 善昭  
 生涯学習推進グループ 大門 啓美  
                                   塩濱 弘子  
                                   漆原 聡
- 5 議 案  
 (1) 平成 28 年度下野市生涯学習推進実績報告について  
 (2) 平成 30 年度実施計画に対する提案について

会長	あいさつ
教育長	あいさつ
会長	議題（1）平成 28 年度下野市生涯学習推進実績報告について、事前に質問・意見をいただいていたが、事務局より説明を求める。
事務局	資料 1 に基づき説明
会長	質問はあるか
委員	この実績報告書を初めて見たが、活動が教育委員会だけでなく全庁にわたっており集大成され勉強になった。感じたのは、195 項目のうち、子育て・福祉関係が 51 項目あり、時代を反映しているのかなと思う。これで下野市生涯学習活動が全部わかり素晴らしい。
委員	「生涯学習推進協議会は何をしたらいいのか、何をすべきなのか」を考えると、協議会と各グループの代表が話し合いをしなくてはいけない。あるいは、本部会・幹事会と協議会の話し合いも。市民ニーズに応える場合、委員がどこまでニーズを把握しているかから始まる。話し合いの場がなければ、生涯学習によるまちづくりはできないと思う。本部会・幹事会・協議会の話し合いを検討すると書いてあるが、話し合いの場をつくるために、どのような検討をしてくれるのか。
会長	生涯学習推進協議会は、市民の学習ニーズを聴き、生涯学習文化課を

委員	<p>通して本部会に報告することになると思う。</p> <p>生涯学習推進協議会というものがあることを知らない、学習グループもある。推進協議会は市民と行政とのパイプ役だと思う。推進協議会委員はどのようなことをすればいいのか。</p>
事務局	<p>生涯学習推進協議会の委員のみなさんには、市民と行政の連携を深め、市民の学習ニーズに即した取組を進めていくために、市民のニーズをお聞かせいただけたらと思っている。例えば、武子委員さんは図書館協議会からの代表ということで、所属しているボランティア団体の方たちのご意見をぜひここで聞かせていただけたらと思う。また、本日欠席されているが、公運審からも委員さんに来ていただいている。学校の先生、男女共同参画推進委員会、スポーツ推進委員と、市民の代表としてきていただいているので、ぜひ、生の声をここでお聞かせいただきたいと思う。</p>
委員 会長	<p>それが、市民ニーズを把握しているということか。</p> <p>「本部会、協議会の話し合いの機会を」と出ているが、例えば本部会から諮問があれば答申するが、本部会から我々の話を聞きたいということもあるかもしれないが、直接本部会と協議会が話し合う機会はない。我々はあくまでも市民からの要望・ニーズを聴いて、まとめて事務局を通し、本部にあげていくのが、協議会の意味と考えている。</p>
委員	<p>そうだと思うが、それでは満足できない部分が多々でてくると思う。そのでてきた問題は重要なことが多い。その問題に対し、協議会としてどうしたらいいのか。本部会と幹事会と話し合いをしておかなくては、お互いにどうしたらいいのかわからない部分が出てくると思う。</p>
会長	<p>そのような状況の場合、今回のように協議会として提案という形でまとめて本部にあげるとのことだと思う。</p>
教育長	<p>委員名簿を見ていただきたい。備考のところにあるように、私は生涯学習推進副本部長として出席している。また、推進本部の事務局が、4人そろっている。推進協議会の中身については、必要なものは、私のほうから直接副本部長に伝えられるし、本部会でも報告できる。例えば、195事業に対し評価をしてないではないか、この部分は費用対効果も含めてやるべきだと伝えられる。これが直接的な話し合いと考えていただきたい。私だけでなく事務局4人もいるので間違いなく提案できると考える。ここに市長がきていないから話し合いができていないということはない。そうご了解いただければ、スムーズに組織として機能できると思う。</p>
委員	<p>理解はできるが、現場にでると、推進協議会なんて知らないという声が聞こえるのも確かだ。そういう場合、どうPRしていったらいいのか。機関紙などで伝えてはいるだろうが、見ている人は少ない。知らない人のほうが多い。そういう人たちに、パイプ役になっている我々ができることは何なのか。我々がしていることをいかにPR、啓蒙していけるかだと思う。</p>
会長	<p>今回の実績報告の延べ人数を計算すると、すごい人数であるが、今言われたように、これだけの生涯学習を組まれていることを知らないと思</p>

教育長	<p>う。市民の方々に、この推進計画、各課がやっている事業を認知させるにはどうしたらいいのか、みなさんの意見をいただきたい。市としては、メールや広報で市民に対してPRしているが周知されていない。</p> <p>素晴らしい成果もある。3年前島田会長から、まちづくりリクエスト講座の情報がバラバラでよくわからないというご意見をいただき、一つのパンフレットにまとめ、全戸配布した。そして、2年後の昨年には、メールにまとめ周知した。また、公民館講座の募集も1年間まとめて募集していたが、前期と後期にわけて募集するようにした。これも生涯学習推進協議会の意見を反映させて改善したものである。さらに、2年前までは推進協議会の専門部会は大人数であった。会議となると50名から60名にもなった。それでは機能できないということでコンパクトにし動けるようにした。この協議会でも貴重なご意見をいただいております、実施につながっている。貴重な意見を事務局が実施機関に投げたり、幹事会に報告し、次年度の事業につなげてきたことをご理解いただきたい。</p>
委員	<p>見えない部分があり、モヤモヤしているが、本部会・幹事会・事務局は一生懸命やっているもので、我々も一生懸命やればよいと思う。</p>
会長	<p>市民により良い講座を提供するには、例えば12ページの健康・体力づくりのための学習については高齢福祉課や健康増進課、各公民館といろんな課が事業を実施している。このテーマについて関係課が話し合い調整すればより中身がよくなるのではないかと思います。時間もないので、一項目の市民に周知していくにはどうしたいのかご意見を願いたい。これはずっと続く課題であると思う。</p>
委員	<p>我々市民6万人に知らせる方法は、いろんなメディアを使う、時間もかかる。一般的に見ているのは広報とメール、あとはわずかだがネットである。こういう方法がある。今年の公民館講座は国分寺で15講座、石橋で15講座、南河内で15講座、東公民館で14講座と公民館だけで59講座やっている。この各講座が始まる時に実績報告書の最後のページの計画の推進体制図を一枚配る。そこから広がっていく。そのほかに、生涯学習文化課が14講座、生涯情報センターが4講座、図書館が18講座ある。ここにも配る。そうすると、生涯学習推進計画というものがあるんだなとわかる。これを10年くらいやるといいのではないか。生涯教育は大切である。学校教育の対象者が5,100人、生涯教育は6万人。時間がかかるがじわじわやっていくしかない。このページをアレンジして、小学校4、5年生が見てわかるようにしたものを配るとよい。文字は大きくして。</p>
委員 会長	<p>こういうものを常時配布していくのも、一つの方法だと思う。</p> <p>毎回、会議時のテーマの一つにして、「市民に徹底するのにどんな考えがあるか」という時間をとってもいいのではないか。議題として検討していただけるか。</p>
事務局 委員	<p>はい。検討する。</p> <p>今、講座の時にと言ったが、各公民館、図書館の自主サークルが171サ</p>

会長	<p>一カ所ある。ここにアピールするというのも効果的だ。171 サークルあるので、10 人にいけば 1,710 人、10 人以上いるであろうから 2 千人から 3 千人にアピールできる。このように意図的にやらないとだめである。自主サークル組織があるので活かさないともったいない。</p>
事務局	<p>生涯学習活動をより多くの市民に知らせるための 2 つの提案があった。</p> <p>生涯学習の流れをさらに加速させていくためにどうしたらいいのか、また次回に時間をとって話し合いたい。</p> <p>議題（2）平成 30 年度実施計画に対する提案について説明を求める。</p> <p>28 年度第 1 回推進協議会時には、「地域づくりのための学習の充実」「学びを活かす・学びを支援するの充実」の 2 つのテーマについて検討し、提案していただいた。今年度は「ボランティア養成講座の充実」についてお願いしたい。参考に平成 29 年度実施計画から（5）各種ボランティア養成講座の開催のページを抜粋して資料として用意した。29 年度は 9 つの講座がある。このボランティア養成講座を充実させていくために、特に、子どもたちにむけてのものが少ないので、学校支援ボランティアをふくめ委員のみなさまにご意見をいただきたい。</p>
会長 委員	<p>学校支援ボランティアについて、学校ではどのように考えているか。</p> <p>学校でボランティアを集めて、会議を開いたり、自主的に入ってもらって活動している。私が今考えているのは、地域のボランティアを統括するコーディネーターを養成してもらいたい。コーディネーターがそれぞれの地区にいて学校とつながっている、地域とのパイプ役が必要と考えている。これから学校運営協議会を立ち上げていくが、その中でも重要な役割を果たす。</p>
会長	<p>コーディネーター養成のための講座をどのように企画したらよいか。講座開設の場としては、地域に密着している公民館がよいのか。現状は生涯学習情報センターで行われている学校支援ボランティアを強化していくにはどうしたらよいか。</p>
委員 会長 委員 教育長	<p>図書館では、やはり読み聞かせボランティア養成講座が充実している。コーディネーターは資格が必要なのか。</p> <p>各ボランティア団体から代表で出してもらえばいいのではないかと。</p> <p>特に資格試験などは聞いたことがない。ある程度の学識経験者であったり、さまざまな自主グループの経験者であったり、そういう部分では資質が要求される。学校運営協議会を立ち上げていくには、地域の顔役というか、いろんな方を学校の庭木の剪定や除草や学校にある樹木の名札をつけてもらったり、子どもたちの野外活動の指導や、見守り隊で子どもの安全安心な通学路の見守りなど、総合的に調整できる方をコーディネーターと位置付けている。また、期間は 3 年程度と考えている。コーディネーターは偏りのないバランスのとれた、みなさんから信頼された方がなるのかと思う。</p>

委員	学校の先生のニーズが我々にはわからない。学校には地域連携教員がいるが、協議会みたいなものがあるのか。
教育長	ふれあい学習推進委員会がある。もちろん、みなさんのお力もお借りしたい。
委員	石橋には、学校ボランティアとして学校からの要望でPTA総会の時などにお子さんをみているボランティアがある。
教育長	下野市には小学校が12校、中学校が4校あるが、一律にはやりたくないしやっちはいけないと思っている。学校の置かれている状況がみんな違うから。公民館が4つあるので、中学校区ごとに大きく分けられる。学校評議員の導入で平成12年度からみなさんに大変お世話になってきているが、学校評議員制を母体としてそれを進化させていく形で考えている。学校によって必要なボランティアも違うので、学校の実情に応じてやっていきたい。学校によっては、国分寺東小学校は学校運営協議会だよりをつくって進んでいる。薬師寺小学校もふるさと学習が盛んである。地域によっていろんな形がある。子どもの数も減ってきている。昨年から約100名減の4,908名である。
委員	教育委員会としては、所管はどこになるのか。
教育長	生涯学習文化課は地域とともにある学校づくりの推進の中の学校支援ボランティア養成として、総合計画に位置付けている。学校教育課も学校運営協議会の導入と小中一貫教育に取り組んでいる。
会長	学校支援ボランティアバンクが情報センターにはある。学校では地域のまとめ役が欲しいということであるが、事務局としては、パイプ役を養成したいのか、または個々を支援する個々のボランティアを養成する講座を充実させていのか。
事務局	両方である。
委員	下野市独自のスポーツボランティア、得意な分野のリーダーバンクをつくったほうがよいと考える。スポーツ推進員はキンボールの指導を依頼されている。
会長	地域に根差したボランティアが必要とされている。個々に指導するボランティアと、それを総括してコーディネートするボランティアを養成していきたいということであるが、地域に根差したということ考えると公民館でつくってもらったほうがよいと考える。
教育長	講座とすると、どういう場面であなたの力が発揮できるかという形で、今学校では、学習ボランティアや読み聞かせなど、いろいろなボランティアを求めている。国の大きな流れも学んでいただき、その中で、なぜ今ボランティアなのか、学校のニーズを把握するなど、プログラムとしては5回くらいになるかと思う。そして学校に入って実際に体験してみる。最後は修了証を出してもいいのかと思う。
会長	提案として細かく講座を組み立てたほうがいいのか。

教育長	昨年度と同様の形で「来年度の講座に向けた新たな取り組み」という形でご提案いただければと思う。
会長	次回の会議で、中身を詰めていきたいと思う。
委員	次回までに資料をいただいて議論すればよい。
教育長	吉田東小の資料をもらえばよい。また、生涯学習情報センターには、すでにボランティアバンクがあるので現状をお知らせできる。
会長	本日はここまでとする。
事務局	本日議論いただいた、学校支援ボランティアについてのほかに、平成30年度実施計画に対する全体的な提案があったら次回いただきたい。 次回は、8月3日（木）午前9時30分からとなる。開催通知、資料等は28日までに送付する。
会長	次回は、①学校支援ボランティアについて、②平成30年度実施計画に対する提案について、③生涯学習推進計画の推進体制を市民に周知徹底するための方策について、を議題とする。
委員	次回、欠席となってしまう。代理を出席させたほうがよいか。
教育長	校長会の代表なので、薬師寺小学校長か吉田西小学校長に代理で出席いただきたい。
会長	以上で閉会とする。